

ESA-PEX2 セットアップガイド Mac OS版

本製品のセットアップ作業を説明しています。
手順にしたがって作業を行ってください。

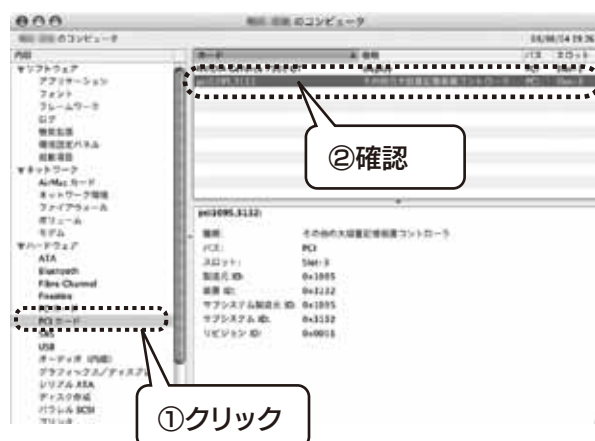
1. インストールする

- 1 パソコンの電源を入れます。
- 2 サポートソフトCD-ROMをCD-ROMドライブに入れます。
- 3 デスクトップに表示されたCD-ROMアイコンをダブルクリックし、表示された[インストール]アイコンをダブルクリックします。
以降は、画面の指示にしたがってすすめてください。



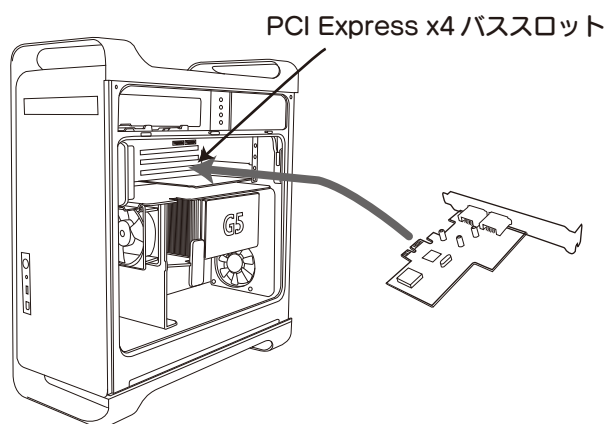
3. 確認する

- 1 「システムプロファイル」を開いて、[PCIカード]をクリックします。
- 2 [pci1095,3132 その他の大容量記憶装置コントローラ]と表示されていることを確認します。



2. 取り付ける

- 1 パソコンの電源を切ります。
- 2 パソコンに接続されているケーブルをすべて取り外し、パソコンのカバーを取り外します。
- 3 本製品をPCI Expressバススロットに取り付けます。
※PCI Express x4 バススロットに取り付けてください。



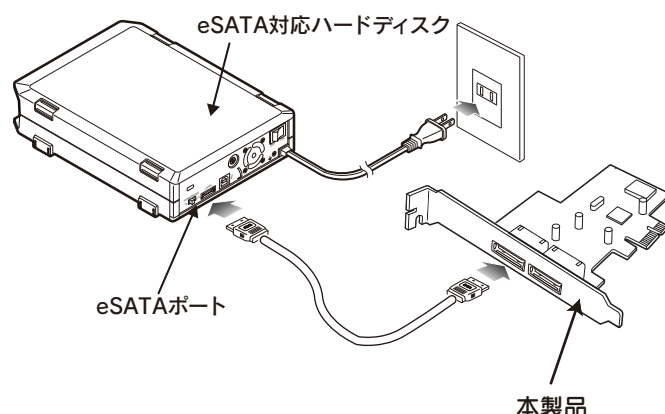
- 4 取り外したケーブル、カバーを元に戻します。

以上で取り付けは終了です。

4. 接続する

eSATA対応ハードディスクを接続します。

- 1 接続するハードディスクの電源ケーブルをコンセントに接続します。
- 2 eSATAケーブルをハードディスクのeSATAポートに接続します。
- 3 eSATAケーブルを本製品に接続します。

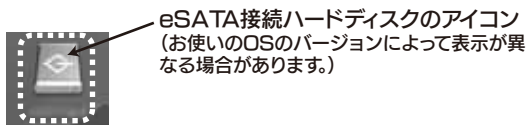


5. 確認する

eSATA対応ハードディスクの接続を確認します。

本製品に接続したeSATA接続ハードディスクの接続状態は、Mac OS X上で確認することができます。

- 1 デスクトップ上に、eSATA接続ハードディスクのアイコンが表示されていることを確認します。



- 2 ディスクユーティリティで、本製品に接続されているeSATA接続ハードディスクを確認します。



▲ディスクユーティリティでの確認画面

上記が表示されていればeSATA接続ハードディスクは正しく接続されています。

6. 取り外す場合

本製品からeSATA対応ハードディスクを取り外します。

Mac OS X使用中に、eSATA接続ハードディスクを取り外す場合は、eSATA接続ハードディスクアイコンをゴミ箱に捨てた後で、eSATA接続ハードディスクからケーブルを取り外します。

※ポートマルチプライヤーを使用して複数のeSATA接続ハードディスクを使用している場合は、接続しているeSATA接続ハードディスクを全て取り外し、それから本製品と接続しているeSATAケーブルを取り外します。

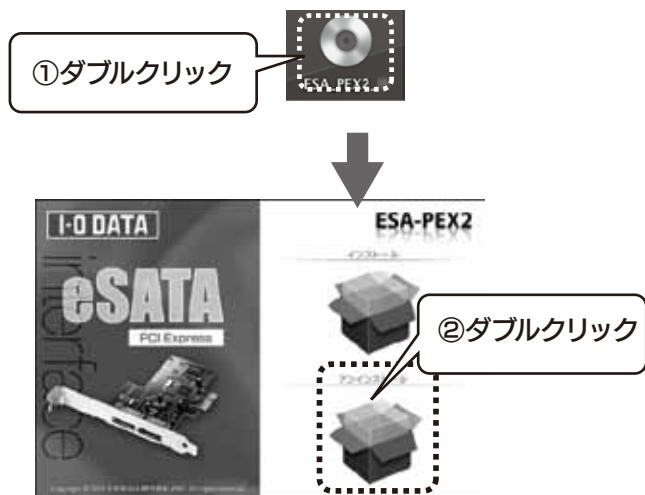
- 1 eSATA接続ハードディスクアイコンをゴミ箱に捨てます。



- 2 ケーブルを取り外します。

インストールしたサポートソフトを削除する場合

- 1 本製品に接続されているすべての機器を取り外します。
詳しくは、【取り外す】を参照してください。
- 2 「サポートソフト」CD-ROMをCD-ROMドライブに入れます。
- 3 デスクトップに表示されたCD-ROMアイコンをダブルクリックし、表示された[アンインストール]アイコンをダブルクリックします。
以降は、画面の指示にしたがってすすめてください。



本製使用上のご注意

- 本製品に接続したeSATAハードディスクにはシステムはインストールしないでください。
データ保存用としてご利用ください。
また、本製品に接続したハードディスクからの起動はできません。
- 本製品は、Mac OS Xの省エネルギー機能及びスリープ機能には対応しておりません。
- 省エネルギー画面で、「コンピュータがスリープするまでの待機時間」は、「しない」に設定してください。
- Mac OS X終了時の「スリープ」は実行しないでください。

困ったときには

本製品を使っていて、トラブルがあったときは、サポートWebページ内の「製品Q&A、Newsその他」もご覧ください。過去にサポートセンターに寄せられた事例などを紹介しています。

製品Q&A、Newsなど

<http://www.iodata.jp/support/>